

全学級週1回の図書館利用、本はともだちビンゴカード、絵本作家による絵本ライブ、夏休みの図書館講座

鹿児島県 鹿児島市立中山小学校

基本データ

所在地	鹿児島市中山2丁目 30番3号
児童生徒数	1,434人
教職員数	90人
蔵書数	約17,000冊
年間貸出冊数	259,841冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用、人材育成の取組、校内連携の推進

【活動のねらい】

- (1) 児童自ら本を選ぶ・探すという力を身に付けるための取組
- (2) 児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動を身に付けるための取組
- (3) (4) 児童の読書意欲を高め、知的好奇心を醸成する開かれた学びの場としての図書館を目指した取組

取組・活動の概要

(1) 全学級(54学級)週1回の図書館利用

- 図書館前の廊下に3週間分の図書館利用時間割を掲示、円滑な図書館利用に活用している。



週1回の図書館利用の時間割調整

(2) 本はともだちビンゴカード

- 児童の読書量増加に伴い、読書の質の向上を図るため、平成30年度から「ビンゴカード(推薦図書)」の取組を開始。
- 各学年の読書指導係が九つのテーマに添った本を選書し、学年のリストを作成する。
- 学年の実態に応じて複数の教科・分野から広く選定し、児童は各テーマから1冊、合計9冊の本を読む。
- その際、ビンゴゲームのように書名が入ったカードにスタンプを押し、全て完了(オールビンゴ)した児童には「完読証明証」を発行している。

(3) 絵本作家による絵本ライブ

「中山小おはなしたまてばこ」

- 平成27年度から学校行事として、絵本作家による絵本ライブを毎年実施している。
- 平成27年度は長谷川義史氏、平成28年度は鈴木のりたけ氏、平成29年度は長谷川義史氏 & あおきひろえ氏ご夫婦、令和元年度は中川ひろたか氏。
- 必要経費はPTA費を予算化している。



2019おはなしたまてばこ 中川ひろたか絵本ライブ

(4) 夏休みの図書館講座

- 夏休み期間中に本校職員を主な講師とし、「夏休みの図書館講座」を実施している。
- 令和元年度の講座内容は、「貝殻採集・標本づくり講座」、「教頭先生による読み聞かせ講座」など全9講座であった。
- 夏休み前に児童へ周知し、事前申込みの上、実施している。当該児童の保護者や未就学の弟妹が参加する場合もあり、地域に開かれた学校図書館として、より身近に感じていただけるよう広く受け入れている。

- 児童が興味・関心のある講座を受講することで、将来を見据えた学びの場にもなっている。
- 人材の確保は必須ではあるが、経費等は不要。



2019 夏休み図書館講座「貝殻講座」



2019 夏休み図書館講座「エコなしおりづくり講座」

取組・活動の工夫や特徴

(1) 全学級 (54 学級) 週 1 回の図書館利用

- 図書館統計を可視化している。
- 学校・学年行事等で図書館利用ができない場合は、事前に司書から別時間への振替利用を依頼することで、別日若しくは別時間への利用時間の確保を促している。

(2) 本はともだちピンゴカード

- 各学年の職員が選書・リスト作成を行うため、学年の実態に応じた本を読むことができる。
- 近年、児童が読むことの少なくなった良書にも関心を向けさせるよい機会となり、充実した取組となっている。

(3) 絵本作家による絵本ライブ「中山小おはなしたまてばこ」

- 学校行事として全職員で取り組む。
- 絵本作家を迎えるに当たり、1か月前から作品を読み、感想画や感想文に取り組んだり、学年で図書を巡回したりして、絵本ライブ当日をより楽しめるよう工夫している。

- 読書クラブを中心に、作品から抜粋した1シーンの貼り絵づくりに取り組み、当日はステージの背景として掲示・活用し、華を添えている。

(4) 夏休みの図書館講座

- 職員の得意分野で講座を開くことにより、児童は担任以外の職員と交流したり学校をより身近に感じたりしている。
- 学校図書館が知的好奇心を醸成する開かれた学びの場となっている。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 全学級 (54 学級) 週 1 回の図書館利用

- 取組前：平成 26 年度年間貸出冊数 108,091 冊 (一人平均 86.2 冊)
取組後：平成 30 年度年間貸出冊数 259,841 冊 (一人平均 186.8 冊)
- 平成 30 年度については 98.3%(1,368 人)の児童が年間貸出 100 冊を達成した。
- 各学級・学年・全校の図書館統計を取り活用。

(2) 本はともだちピンゴカード

- 児童自身の選書方法として、表紙の印象だけで選ぶのではなく、昔から読み継がれてきた良書や様々な分類の本にも自然と手が伸びるようになり、読書の偏りが改善されてきた。

(3) 絵本作家による絵本ライブ「中山小おはなしたまてばこ」

- 絵本ライブでの作家本人による読み聞かせや実際に絵を描く姿に触れることで、更なる読書意欲の向上が見られた。併せてキャリア教育の充実にもつながっている。

(4) 夏休みの図書館講座

- 夏休みの図書館講座のとき、本の返却・貸出を行うため、夏季休業中も図書館での読書活動が活発になる。また、児童が興味・関心をもった講座を受講することで、好きな分野の研究に没頭し、自由研究等での受賞という成果が出始めている。
- 引き続き校内の体制や連携を充実させながら取り組んでいく。